

2023年3月30日

報道関係者各位

J-オイルミルズ 倉敷工場に太陽光発電設備を導入 2023年4月1日（土）より稼働開始

株式会社 J-オイルミルズ（東京都中央区、代表取締役社長執行役員:佐藤 達也 以下当社）は、倉敷工場に PPA モデル（※1）の太陽光発電設備を導入し、2023年4月1日（土）より稼働を開始します。

今回、当社倉敷工場では建屋屋上部分の一部に太陽光パネル約 700 枚を設置したことで年間約 30 万 kwh を CO₂ フリー電力に転換し、年間で約 160 トンの CO₂ 排出量低減を見込んでいます。当社は本取り組みを通じ、原料の多くを天然資源に依存する企業として、地球温暖化や気候変動、原料の生産量や作柄へ影響する重要な課題である、温室効果ガスの排出量削減に積極的に取り組んでまいります。なお本件は環境省の「ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業（※2）」として採択されました。



当社は「CO₂ 中長期削減目標」（※3）において、2030 年度までに CO₂ 排出量を 2013 年度対比での 50% 削減（Scope1,2）を目標とし、同時に 2050 年度までに排出ゼロにするカーボンニュートラルを掲げています。また購入する原材料や商品の製造に関する CO₂ 排出量など、サプライチェーン全体での削減を目指しています（Scope3）。今後も、環境負荷低減に向けて再生可能エネルギーの導入拡大を通じ、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：Power Purchase Agreement の略。電力販売契約の意。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO₂ 排出の削減ができます。

環境省ウェブサイト「再エネ スタート」：<https://ondankataisaku.env.go.jp/re-start/howto/03/>

※2：二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業）

環境省ウェブサイト「報道発表資料」：<https://www.env.go.jp/press/110821.html>

※3：CO₂ 中長期削減目標

当社ウェブサイト「温室効果ガス（GHG）削減」：https://www.j-oil.com/sustainability/environment/climate_change/co2_reduction.html

■J-オイルミルズについて

株式会社 J-オイルミルズ（東証プライム市場、証券コード 2613）は 2004 年に製油業界の 3 社が統合して誕生した、味の素グループの食用油メーカーです。JOYL「AJINOMOTO オリーブオイル」をはじめとする油脂製品を主力とし、特に業務用油脂では高いシェアを誇ります。マーガリン類、油糧（ミール）、スターチ、機能性素材など幅広い事業を展開しており、プラスチック使用量を 6 割以上[※]削減した紙パックの食用油「スマートグリーンパック[®]」シリーズや植物性チーズ「Violife（ビオライフ）」、CFP(Carbon Footprint of Products)マークを取得した業務用の長持ち油「長徳[®]」シリーズなど、植物由来の原料から価値を引き出し「おいしさ×健康×低負荷」の実現を目指しています。詳細については <https://www.j-oil.com/> をご参照ください。 ※ 当社計算。従来のプラスチック製の同容量帯容器と比較した場合。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 J-オイルミルズ コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

Tel : 03-5148-7103 E-mail : pr@j-oil.com